



## 念願だった「姫路市議会精神保健福祉研究会」発足および「2021年度姫路市議会議員精神保健福祉勉強会」開催！！



令和3年6月23日「ひょうかれん令和3年度定時総会」に初めて出席した際、議案の事業活動報告の「活動団体との連携に関する事業」の項で「兵庫県議会議員」「神戸市議会議員」「明石市議会議員」の「精神保健研究会会員名簿」と「加西市議会障がい者福祉研究会会員名簿」を見ました。昨年7月設立された「明石市議会精神保健研究会」の設立までの事例をひょうかれん南部副会長にお尋ねしてアドバイスを頂き、令和3年第3回姫路市議会定例会開催初日の9月2日に議会各会派を回り「研究会(仮称)設立のお願いと入会申込書」を手渡すことができました。

申し込み締め切り当日には、46名の議員中30名に参加申し込みをして頂き、ただただ感謝しました。そして10月5日の議会閉会日に三木・志水で「研究会設立の参加への御礼」を各会派ごと各議員にご挨拶に伺いました。

姫路市議会精神保健福祉研究会名簿

会派名	人数	議員名(敬称略)
市民クラブ	9人	阿山正人、竹尾浩司、○山口 悟、常盤真功、駒田かすみ、石堂大輔、三輪敏之、八木隆次郎、蔭山敏明
公明党	8人	木村達夫、有馬剛朗、川島淳良、○白井義一、中西祥子、西本真造、宮下和也、山崎陽介
新生ひめじ	3人	東影 昭、萩原唯典、○梅木百樹
自由民主党 無所属の会	3人	○汐田浩二、石見和之、小林由朗
創政会	3人	妻鹿幸二、○金内義和、江口千洋
日本共産党議員団	2人	谷川真由美、○村原守泰
日本維新の会	2人	大西陽介、○竹中由佳
参加人数合計	30人	

○印 各会派代表者

### 「第4回姫路市議会議員精神保健福祉勉強会」を実施

日時：令和3年11月9日(火) 13時30分～15時  
 場所：姫路市役所議会棟3階 議会会議室  
 出席者：合計30名、市議23名、市職員4名、ひめかれん3名  
 講師：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹端 實 氏  
 講演題：「精神障がい者も家族も社会的に排除されない姫路市を目指して」  
 講演要旨：精神障がい者当事者・家族が置かれている実態や社会的排除の悪循環、解決するための施策などから、障がい者が暮らしやすい姫路市を目指すためにはどう対処すべきかを熱く話していただきました。



### 「姫路市議会精神保健福祉研究会」設立総会

日時：令和3年11月9日(火) 15時10分～15時30分  
 場所：姫路市役所 議会会議室  
 世話人代表として梅木百樹議員に、事務局として竹中由佳議員にそれぞれ担当していただくこととなりました。



ひめかれんを応援して下さる  
 賛助団体会員への入会を  
 お願い致します

### ひめかれん賛助団体会員にご加入・ご支援頂いている法人・企業様です

- 医療法人恵風会 高岡病院 様
- 医療法人山伍会 播磨大塩病院 様
- 医療法人全人会 仁恵病院 様
- 医療法人内海慈仁会 姫路北病院 様
- 医療法人仁寿会 石川病院 様
- 株式会社 平井工業 様
- 菊川荒木内科心療内科 様
- 金高医院(内科、心療科、精神科他) 様
- ふじわら心のクリニック(心療内科、精神科) 様
- 松島クリニック(精神科、神経内科) 様
- 株式会社 ゴトウ・アズ・プランニング 様
- 阿比野建設 株式会社 様
- 株式会社 坪田工務店 様
- 表瓦株式会社 様
- 十字屋刺繍有限公司 様
- 平野屋米穀店 様
- 神昌クリエイティブ株式会社 様

(順不同)

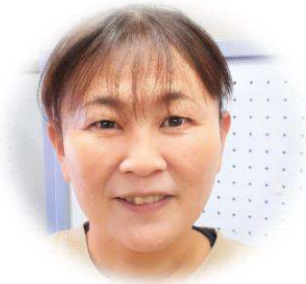
『ひめかれん』は、精神障がい者が地域の中で安心して生活できるよう、精神疾患についての正しい知識や理解の普及をはかったり、精神障がい者の医療や福祉の向上を促す活動を続けています。

# ひめかれん 第53号

発行日 2021年11月25日  
 編集人 特定非営利活動法人 姫路市精神保健福祉連合会  
 (通称：ひめかれん)  
 事務所 〒670-0955 姫路市安田三丁目1番地  
 姫路市総合福祉会館3階  
 HP <http://www.himekaren.com>  
 E-mail [himekaren@ba.wakwak.com](mailto:himekaren@ba.wakwak.com)  
 TEL 079-269-9034 FAX 079-269-9035

## 『日々平穏な生活が過ごせますように』

理事 山本 寿子



『日々平穏な生活が過ごせますように』この言葉は私が働いている就労継続支援B型ピースフルJobでのモットーであります。

皆さんは毎日をどのような心で暮らし、どのような心で人に接していますか？

私はいつも某金融機関で待ち時間の時に読む本があります。

それは『道徳を考える月刊誌』です。いつもこの本を楽しみにしています。今月のテーマが『心をつなぐ』でした。周囲の人たちと心をつなぐ為の第一歩は『挨拶』だと記されていました。『おはよう』や『こんにちは』だけでなく『心からの感謝を伝える』事が重要であり一人ひとりがそうした心がけを持つことで温かい人間関係の輪が地域全体に広がっていくならば本当に素晴らしい社会になるはずで。

私の祖父が生前よく言っていた言葉があります。

『親切。してあげた事しか覚えてない不幸。された事すぐ忘れる勝手者。親切はしてよし、見てよし、されてよし。』

まだまだ幼かった私はこの意味を深く考えることなく聞いていました。

「ひめかれん」をはじめこの福祉職に携わる事によりたくさんの人達との出会いがありました。色々な人に助けられ今の私やピースフルがあります。その感謝を忘れず今後も住みよい社会に、そして平穏無事に過ごせるよう利用者さんと共にゆっくりと歩んでいきたいと思ひます。



## 家族の声 「病気の弟に感謝」

今から17年前に弟が統合失調症と診断されました。その当時は、ただただ不安と恐怖の毎日でした。入退院を繰り返した後、アパートでの一人暮らしを始め、ヘルパーさんにも来て頂く生活も10数年が経過しました。今は本人の希望で私が世話をしています。

弟が2年前に近所の防犯カメラを壊す事件を起こしました。幸い示談で解決しました。その時は弟に対して「なんでこんなことをするんや!!」という腹立たしい気持ちでいっぱいでした。

当時この弟を「入院させる?」「どこかの施設に預かってもらう?」などと考えたり、とても私の手に負えないと悩む日々でした。思い起こせばいつも相手の行動を変えさせよう!!変えさせよう!!としてきました。私は弟が発病した後の世話だけでなく、他の家族4人の世話をすることにも頑張ってきました。

自分自身11歳で母を亡くしその寂しさを我慢し続けていたことに気付きました。

そうした自分でしたがあるセミナーや「ひめかれん」に出会うことで、自分の心の中が少しずつ変わってきたとき、弟にも変化があらわれてきました。まず、ごみを拾って帰らなくなったり、風呂にも入るようになりました。特に、最近では弟が「いつもお弁当を作ってくれてありがとう」と言い、母の日には「カーネーション」をプレゼントしてくれたりします。そうした時々に「あなたが病気になってくれたお陰でもう一度私の人生を見つめ直すことが出来たよ。あなたの病気のご縁で、多くの方々との出会い自分をより深く知るきっかけとなったよ。あなたが生まれてきたことに今は感謝しています。」と思わされます。

これからも穏やかな日々が過ごせますように!!と日々願っています。(家族部会：H・T)

